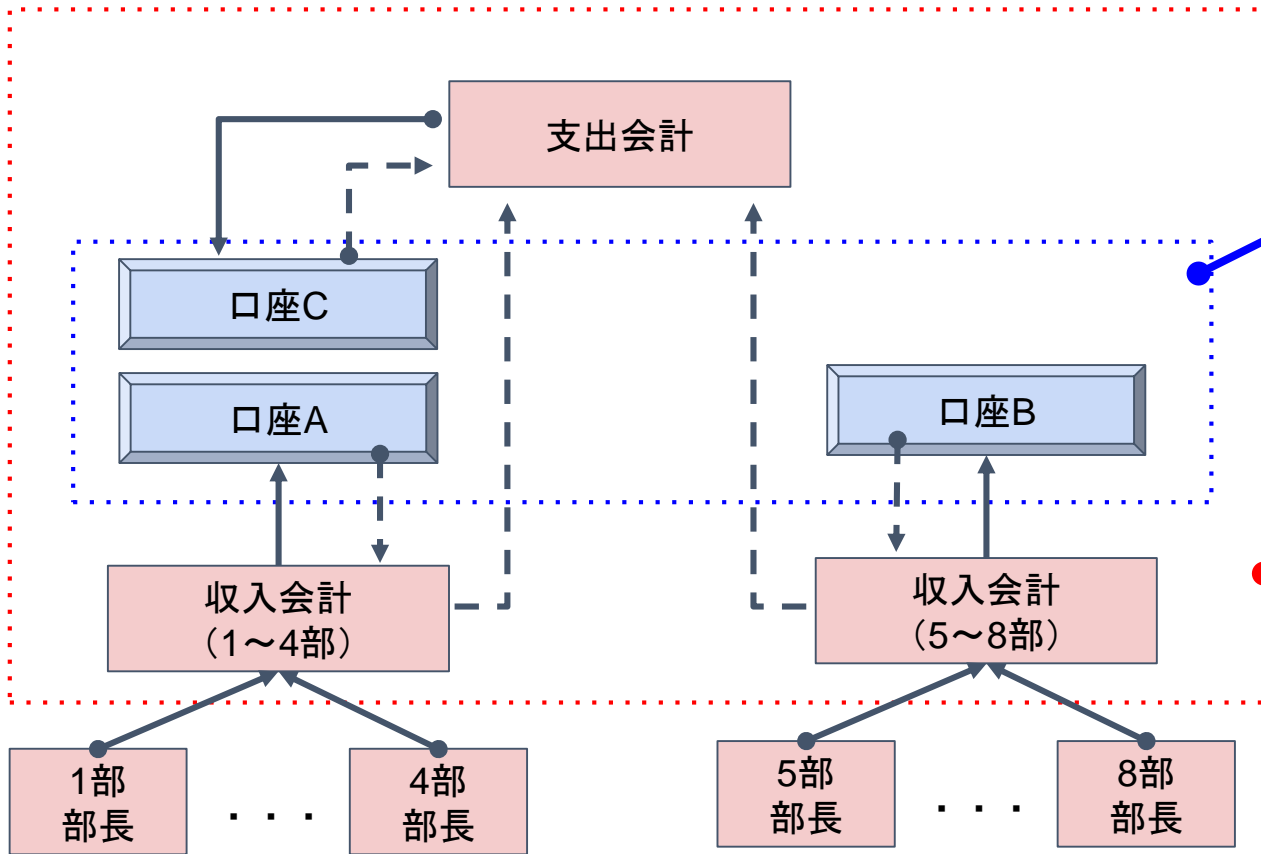


現状整理と課題把握



課題 1.

口座が複数存在しており入出金情報の把握に手間がかかる
(口座の入出金明細と台帳の突合、等)

課題 2.

会計の口座入出金時の手順が属人化して統一化されておらず入出金情報の把握に手間がかかる

← 入金の流れ
← - - - 出金の流れ

—●— お金の流れの
起点

現状改善の目的

現状改善するための目的は以下の通りです。

改善の目的

説明

課題

会計の見える化

口座を統合することで、管理主幹が明確になるとともに、管理台帳と口座明細の整合性確保が容易になり、町会会計の見える化が実現

口座が複数存在

担い手減少への備え

後任候補者の選定作業の負荷が高い状況の中、会計組織を再編しスリム化することで選定作業の負荷を抑え、今後の担い手減少に向けた備えを整備

入出金時の手順が属人化

引継負荷の軽減

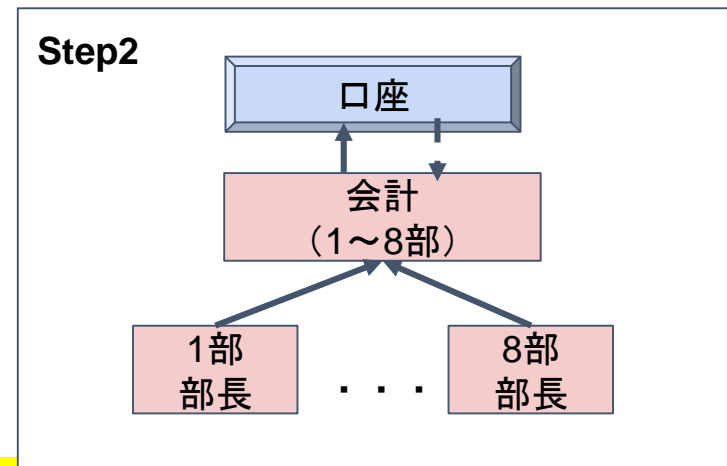
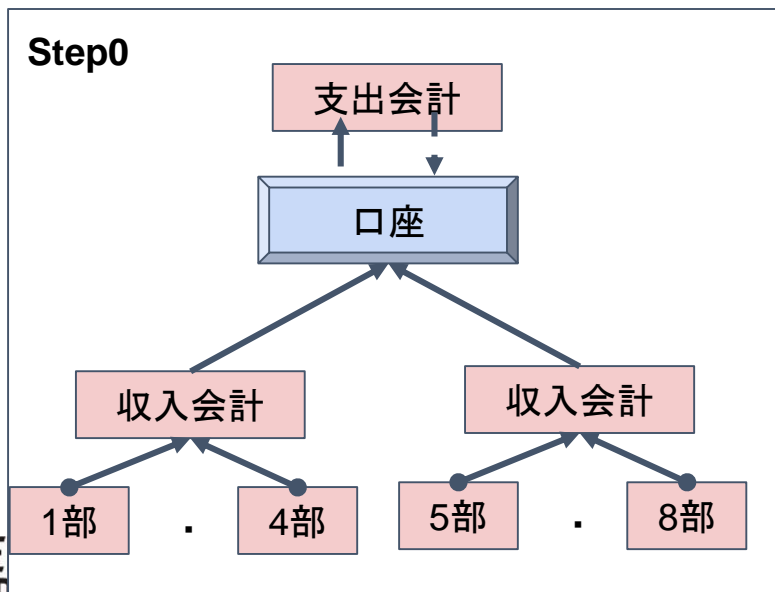
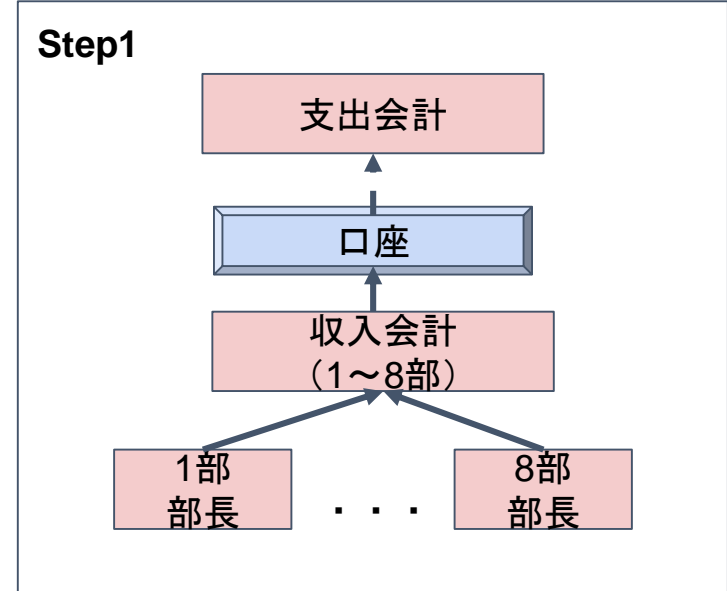
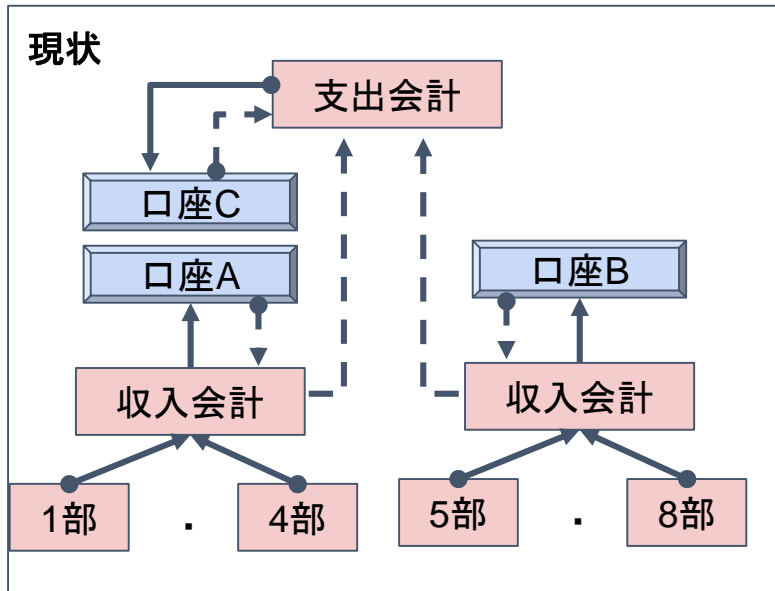
会計管理手順が属人化している状況の中、会計組織をスリム化することで会計管理手順を統一化し、後任への引継負荷を軽減

対策のご提案

改善のためのご提案内容は以下の通りです。

改善の目的	対策	説明
会計の見える化	①口座の統合	<p>Step0</p> <ul style="list-style-type: none">・ 支出会計と収入会計の口座を統合する・ 口座の管理責任者を明確にし、口座から入金時のルールを整備する・ 管理台帳と口座の入出金明細と整合性を維持するため管理台帳の記入ルールを整備する
担い手減少への備え	②会計組織の再編	<p>Step1</p> <ul style="list-style-type: none">・ 部毎に分かれている収入会計を統合する・ 収入会計の部長からの集金手順を整備する
引継負荷の軽減		<p>Step2</p> <ul style="list-style-type: none">・ 支出会計と収入会計を統合する・ 収支会計処理の手順を整備する

(参考) 会計組織再編の流れ



(参考) 口座統合前後での資金移動方法

- 口座統合前
 - ①収入会計の口座(A)から、現金を払いだし支出会計へ手渡し (現状)
 - ②収入会計の口座(A)から、支出会計の口座(C)へ振込
※振込手数料がかかる
 - ③収入会計の口座(A)から、支出会計の口座(C)へ振替
※口座(A)と口座(C)は同一人名義口座である必要がある
※振替の場合手数料がかからない
- 口座統合後
 - ①窓口で入金
※入金時に通帳が必要となる可能性があるため、通帳の受け渡しが必要
 - ②ATMで入金
※入金時にキャッシュカードが必要となるため、カードの受け渡しが必要
※銀行によっては入金専用キャッシュカードを複数枚発行することも可能

(参考) 信用金庫様への確認事項

■町会運営費の管理の仕組み

- 現状

町会では、管理者が異なる3つの口座で現金の入出金を管理しています。

口座間の現金のやり取りは、①管理者(A)が管理口座から現金を下ろす、②管理者間で現金を手渡す、③管理者(B)が口座に入金する、という運用となっています。

- 将来

管理している3つの口座を1つに統合し、管理者1名で入出金を管理します。

統合後の口座に対しては、管理者1名のみが入出金ができ、複数人が入金できる運用を実現ししたいと考えています。

■確認事項

現状の運用と、将来の運用のそれぞれで確認したい内容は以下の通りです。

- 現状

手渡しを手数料が無料な手段（振替等）で実現したいが、貴庫にてご提供されているサービスがあればご教示ください。

- 将来

上記記載の運用を手数料無料で実現するために、貴庫にてご提供されているサービスがあればご教示ください。